

CASBEE 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ホテル京阪 京都八条口	階数	地上5F
建設地	京都市南区東九条南山王町5番1.5番3.5番4	構造	S造
用途地域	商業地域, 準工業地域, 準防火地域	平均居住人員	600 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年3月27日
敷地面積	3,373 m ²	作成者	株式会社 東洋設計事務所 白井 大輔
建築面積	1,949 m ²	確認日	2017年3月28日
延床面積	8,638 m ²	確認者	株式会社 東洋設計事務所 白井 大輔



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 82% (151 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用しており、「持続可能な森林から産出された木材」のうち、地域産木材を使用している	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
LR1 エネルギー	LED照明の採用。	LR2 資源・マテリアル 解体時において分別が容易であり、再利用できるユニット部材を用いている
		LR3 敷地外環境 特になし

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される